

## 令和3年10月始動次期浄水共同研究プロジェクトについて

公益財団法人 水道技術研究センター（以下 JWRC）では、MAC21 が始動した 1991 年から 30 年に亘って、産官学連携による浄水共同研究プロジェクトを継続的に行っています。この度、2021 年 10 月 1 日から次期共同研究プロジェクトの開始を予定しています。

### 1. 研究背景

現在、水道事業を取り巻く状況は変化しており、人口減少や施設老朽化等の課題に直面していることから、適切な資産管理や広域連携の推進といった水道事業の基盤強化が求められています。また、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、施設の更新・集約再編等が望まれています。

### 2. 研究目的

設備の維持修繕・更新、及び施設の再構築を適切に行うための有用な情報の収集を行うとともに、その方策を提案することにより、水道施設を良好な状態に保ち、水道システムとしてのレベルアップを図ることを目的とします。

### 3. 研究概要(案)

研究概要は下記の通りです。なお、プロジェクト始動後に再度精査を行います。

#### (1) 設備の維持修繕・更新

老朽化等に起因する事故を未然に防ぐべく、設備の老朽化に関する情報収集を行うとともに、設備更新による機能改善に資する最新技術についての情報収集を行い、維持管理や LCA 等の観点から更新需要を見直すための方策について提案を目指します。

#### (2) 施設の再構築

具体的な再構築方策に関する情報収集を行うとともに、浄水システムに関する最新技術の情報収集を行い、再構築を契機とした最適な浄水システムの選定方法の提案を目指します。

#### 4. 研究成果目標(案)

「3. 研究概要」で得られた成果は「(仮称) 手引き」のような形でのとりまとめを予定します。このことにより、水道施設の更新や再構築の取組みに際して、水道事業の関係者が参考となる情報等を参照でき、また、更新や再構築に当たって、新たな浄水方法や新技術の採用が促進されることを成果目標とします。

#### 5. 研究体制(案)

浄水技術研究推進委員会を設置し、その下部にプロジェクト委員会及び研究委員会を設けます。また、研究委員会内に、「設備の維持修繕・更新」及び「施設の再構築」をそれぞれ対象とした2つのワーキンググループを設置します。

#### 6. 研究期間

研究期間は令和3年10月1日から令和6年9月30日の3年間とします。

なお、令和6年10月1日から令和7年9月30日の1年間は成果普及活動期間とします。

#### 7. 参加条件

##### (1) 参加資格

①～③の各項全てに該当することとします。

- ① 日本国内において浄水技術に関する研究開発、設計、建設、維持管理に十分な知見及び経験を有する。
- ② 研究期間全般に亘り委員会等に委員を派遣すると共に、研究活動に積極的に参加する。
- ③ 研究負担金を拠出する。

##### (2) 募集要領

参加企業は、1つ以上のワーキンググループに所属するものとします。

なお、申込み時に、研究テーマに関する参加希望の調査を行います。

##### (3) 協定書

参加企業は、JWRC との間で協定書を締結するものとします。

#### 8. 研究費

令和3年10月1日から令和6年9月30日の3年間にかけて、本研究に参加する企業及びJWRC が負担します。

- ・ JWRC 会員企業の研究負担金：年額 110 万円、総額 330 万円（税込み）
- ・ JWRC 非会員企業の研究負担金：年額 165 万円、総額 495 万円（税込み）